

めざす児童生徒像

- ・ になりたい姿に向かってチャレンジする子
- ・ 目標に向かって、自己調整して学べる子
- ・ 他者と話し合い、問題を解決したり、新しい考えを生み出したりする子
- ・ 自分や友達によさや成長を見つけたり、応援したりする子

※児童生徒結果－教員結果・保護者結果

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策	
				教員	児童生徒	保護者				
学校重点項目 (学校で設定)	自己や集団への肯定感の向上	①②③④において肯定的回答が90%以上	① 児童は、学校生活が楽しいと感じている。							
			② 児童は、自分が成長していると感じている。							
			③ 教師は、児童の力を信じ任せている。							
			④ 教師は、児童のよさを認め価値づけている。							
			集計							
重点項目 石川県共通 業務の改善 働き方や		①②において肯定的回答が90%以上	① 80時間越えゼロに向け、時間外勤務の削減に取り組んでいる。							
			② 学校組織の中で自分の役割が明確であり、創意工夫しながら取り組むことができている。							
			集計							
小松市共通重点項目	学校研究	①②③において肯定的回答が90%以上	① 研究主題に迫る目指す授業スタイルを共有し、単元(授業)構想シートなどの具体的な取組を共通実践している。							
			② 授業研究では、教職員一人一人が子供の姿を語ったり、改善案を示したりするなど主体的に取り組んでいる。							
			③ 児童が、自分で考えて学習することが楽しいと感じている。							
			集計							
	指導力の向上	①②③④⑤⑥において肯定的回答が90%以上	① 児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。							
			② 児童生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできている。							
			③ 児童生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。							
			④ 児童生徒は、話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて自分の考えを伝えている。							
			⑤ 児童生徒は、振り返る活動の中で、授業の目標に沿って自分の学びの変容を実感したり、学びに対する達成感を得られたりしている。							
			⑥ 児童生徒は、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために使用している。							
	学力の向上	カリキュラム・マネジメント	①②③④において肯定的回答が90%以上	① 指導計画の作成に当たっては、学校の教育目標の実現に向け、各教科等の教育内容を教科横断的な視点で組み立てている。						
				② 児童生徒や学校、地域の実態を捉えて教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。						
				③ 全職員が学力向上の取組の目的や意義を理解し、課題の解決を期待できると納得して共通実践に取り組んでいる。						
				④ 校区の小・中学校間で学力について情報交換し、課題について共有している。(小中連携)						
集計										
学習方法		①②において肯定的回答が90%以上	① 児童生徒が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行っている。							
			② 児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を活用している。							
			集計							